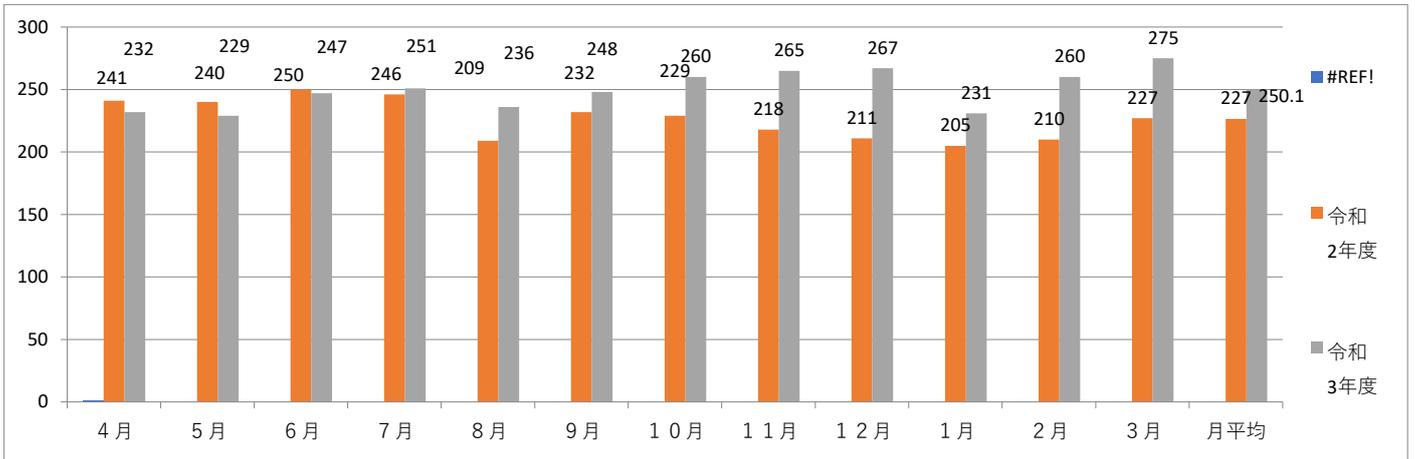


# デイサービスはまぎくの活動状況報告

## 1. 利用者実績数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
令和2年度	要支援 総合	14	16	17	18	15	16	15	15	14	14	12	14	15
	利用 実人数	56	63	73	77	57	66	57	58	53	45	41	57	58.6
	要介護	38	38	38	36	36	35	37	37	35	36	37	38	37
	利用 延回数	241	240	250	246	209	232	229	218	211	205	210	227	227
令和3年度	要支援 総合	13	12	11	11	11	10	9	11	11	11	11	10	10.9167
	利用 実人数	51	37	38	39	36	40	32	44	40	40	39	39	39.6
	要介護	40	40	39	38	36	34	39	39	40	38	41	39	38.6
	利用 延回数	232	229	247	251	236	248	260	265	267	231	260	275	250.1



## 平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和2年度	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8
令和3年度	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8

## 中重度（要介護3～5）の受入れ割合

2年度	24%	3年度	31%
2年度	1.8	3年度	1.8

## 2. 行事・レク活動

月	主な活動行事（*レクリエーション内容は別紙参照/毎月お誕生会開催）
10月	・各種ゲーム ・秋の大運動会 ・避難訓練(10/19)
11月	・各種ゲーム ・紅葉見学（11/4,11/5） ・創作活動（コスモスの花作り）
12月	・各種ゲーム ・クリスマス会(ビンゴゲーム) ・創作活動(クリスマスリース作り)
1月	・各種ゲーム ・書初め ・かるた大会 ・創作活動（みずき団子飾り作り） ・みずき団子作り
2月	・各種ゲーム ・節分大会
3月	・各種ゲーム ・お雛様飾りづくり

### 3. ボランティア団体及び地域交流会の状況

- ・コロナ禍の影響により、各ボランティア団体の慰問活動が自粛

### 4. 事故発生・災害時の状況報告

月日	主な事故・ヒヤリハット・災害状況	対応・改善策
10~2	<p>事故=0件 ヒヤリハット=1件 利用者の容態急変=2件 その他=1件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット (87歳女性) レク活動終了後、トイレに行こうとしたのか、椅子を後ろに下げ立ち上がる。その際、足がもつれふらつき転倒しそうになった。</li> <li>・急変1、(88歳男性) 昼食の配膳時、顔面蒼白で椅子に座っていたのに気づく。呼びかけに、応答がなく意識消失。</li> <li>・急変2、(92歳男性) 通常通り来所。入浴前の血圧測定時、声かけ行すが、反応なし。顔面蒼白。</li> <li>・その他 (送迎車両破損事故) 利用者宅へ送迎に向かっている途中、細い路地を左折する際に民家宅のコンクリート外壁角に、車体の左側下を接触させて傷をつけてしまった。また民家宅の外壁も破損してしまった。</li> </ul>	<p>対応・改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット 職員が後ろから本人の身体を支え転倒は逃れた。怪我はなく、体に異常のない事を確認する。立ち上がり時、足元に十分なスペースがなく足がもつれたこと、また、職員が本人の近くで見守りができていなかったことが原因だと思われる。日ごろから突発的に行動する時があり、ふらつきもあるため注意しながら見守りを行っていた。今後も本人の行動に注意しながら、突発的な事故が起こらないよう心がけていきたい。</li> <li>・急変1 看護師、職員で肩をたたきながら、呼びかけ行う。2.3分後に意識が回復し反応があった。反応はあるものの、顔面蒼白状態で、吐き気もあり。家族に連絡行い、看護婦付き添いのもと県立釜石病院へ救急搬送となった。搬送後、検査実施され、特に異常は見られず。その日のうちに帰宅された。医師からの説明では、入浴後や、排泄後に意識が消失する危険が高いとのこと。今後、本人の健康チェック、状況等確認しながら、入浴等介助行うことが大切だと職員で再確認を行った。</li> <li>・急変2 看護師、職員で呼びかけ行った。1.2分後意識が戻ってきたが反応が鈍い状態。顔面蒼白状態も継続してあり。家族に連絡し、救急車要請。看護師付き添いのもと県立大槌病院へ救急搬送となる。検査行つたが異常はなく、点滴行い、その後自宅に戻られる。高齢者はいつ体調の異変があるかわからない。利用者の体調や状態の確認を行い、異変時の早期発見、見守りの強化に努めることを職員で再度確認した。</li> <li>・その他 以前にも同じ場所で送迎時に外壁に送迎車を接触させ、送迎車、同じ民家宅の外壁を破損していた。すぐに被害者宅へ伺い謝罪を行う。今回も破損箇所が酷くなかったことから修繕は行わなくてもよいとのことで、今後の運転に十分気を付けることを話し、謝罪をし、許しを得た。職員で、再度今後の送迎時の運転について再確認を行った。狭い路地だったため、送迎時の道順を変更し、無理のない運転を行い、再発防止に努めることを共有した。</li> </ul>

## 5. 職員研修の実施状況

10~2	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症介護基礎研修（オンライン研修）＝職員2名</li><li>・社協業務課全体研修（感染症、疥癬についての理解と症例の紹介）</li><li>・介護技術講座＝職員1名</li><li>・介護ロボット研修＝職員1名</li><li>・社協業務課全体研修（接遇マナーと虐待防止について）</li></ul>
------	---

## 6. 課題

- ・ワクチン接種を行ったことで、コロナ自粛で休まれる方が減少したが、1月に入り再度コロナ感染症の急拡大が確認されている。今後も利用者、職員の感染予防の対策、留意事項の再確認を継続して行う必要がある。
- ・上半期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、レク活動の制限、各ボランティア団体の慰問活動自粛等で以前のような地域交流の場が少なくなっている。
- ・1日の利用定員数が18名に満たしている日が多くなったが、定期的なショート利用、体調不良、入院で休まれる方も多い。利用回数は増加傾向にあるが、予定利用人数には満たない状況である。
- ・施設の老朽化に伴い、今後修繕が必要な個所は何か所か見受けられる。利用者が安心、安全に利用できるよう施設整備は重要な課題である。
- ・調理人、看護師等の辞職により、職員不足のため人員の配置が難しくなっている。

## 7. 次回運営推進会議開催予定日

- ・令和4年10月
- ・場所大槌町デイサービスセンターはまぎく